

障がい者マークについて

障がい者に関するマークです。外見からはわかりにくい障がいもあり、誤解を受けたり、不利益をこうむったり、社会生活に不安をかかえることがないように、これらのマークが表示されていることに気づいたら、その方にあつた配慮をこころがけるようにしましょう。

【障がい者のための国際シンボルマーク】



このマークは「すべての障がい者を対象」としたものです。障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。

【身体障がい者標識】



肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです。

【聴覚障がい者標識】



聴覚障がいであることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです。

【耳マーク】



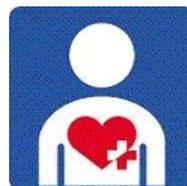
聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。

【オストメイト マーク】

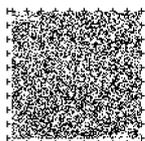


人工肛門・人工膀胱を造設している人（オストメイト）のための設備があることを表しています。オストメイト対応のトイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。
このマークはオストメイトに配慮されたトイレであることを示しています。

【ハート・プラス マーク】



「身体内部に障がいがある人」を表しています。
身体内部とは心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能のことをいい、外見からはわかりにくい障がいといえます。



【盲人のための国際シンボルマーク】



世界盲人連合で 1984 年に制定された盲人のための世界共通のマークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。信号機や国際点字郵便物・書籍などで身近に見かけるマークです

【障がい者雇用支援マーク】



公益財団法人ソーシャルサービス協会が障がい者の在宅障がい者就労支援並びに障がい者就労支援を認めた企業、団体に対して付与する認証マークです。

【ヘルプカード・ヘルプマーク】



目や耳、言語の障がい、内部障がいや難病、知的障がい、精神障がい、認知症など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせる『ヘルプマーク・ヘルプカード』です。

【ほじょ犬マーク】



身体障がい者補助犬同伴の啓発のためのマークです。

身体障がい者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。「身体障害者補助犬法」が施行され、レストラン・スーパー等の民間施設でも同伴できるようになりました。

補助犬はペットではありません。体の不自由な方の、体の一部となって働いています。社会のマナーもきちんと訓練されていますし、衛生面でもきちんと管理されています。

【ふくおか・まごころ駐車場 利用証】



車の乗り降りや移動に配慮の必要な方が、県と協定を結んだ商業施設や公共施設のふくおか・まごころ駐車場に駐車するための利用証です。

赤色：車いすを常時利用する身障者で自ら運転する人

緑色：身体・知的・精神障がいのある人、高齢者、難病患者

オレンジ色：妊産婦、けが人

